

西郷隆盛生誕200年・没後150年
記念プロジェクト推進事業

事業計画

愛にいこう、かごしま。

西郷 隆盛

生誕200年・没後150年記念



鹿児島市

目次

目次	1
----	---

第1章 事業概要

1 事業の主旨・目的	2
(1)事業の主旨・目的	
2 事業期間・事業名称	2
(1) 事業期間	
(2) 事業名称	
3 事業推進体制	3
4 推進施策ごとの主な取組・推進体制における役割分担	4
5 ロゴマーク・キャッチコピー等	5-6
(1) ロゴマーク	
(2) キャッチコピー	
(3) キャッチコピーに込められた意味	
6 事業の方向性	7-10
(1) 基本方針	
(2) 事業のイメージ	
7 施策の柱・推進施策	11-16
(1) 施策の柱Ⅰ・推進施策1～3	
(2) 施策の柱Ⅱ・推進施策4～5	
(3) 施策の柱Ⅲ・推進施策6～7	

第2章 事業実施に向けて

1 関係機関や民間事業者等との連携	17
2 西郷まちなか博覧会実施における連携	17
3 冠付けイベントの効果的な推進	17
4 ロゴマーク・キャッチコピー等の積極的な推進	18

第1章 事業概要

1 事業の主旨・目的

(1) 事業の主旨・目的

西郷隆盛

・生誕：1828.1.23 ▶生誕200年：2028（令10）.1.23（日）

・死没：1877.9.24 ▶没後150年：2027（令9）.9.24（金）

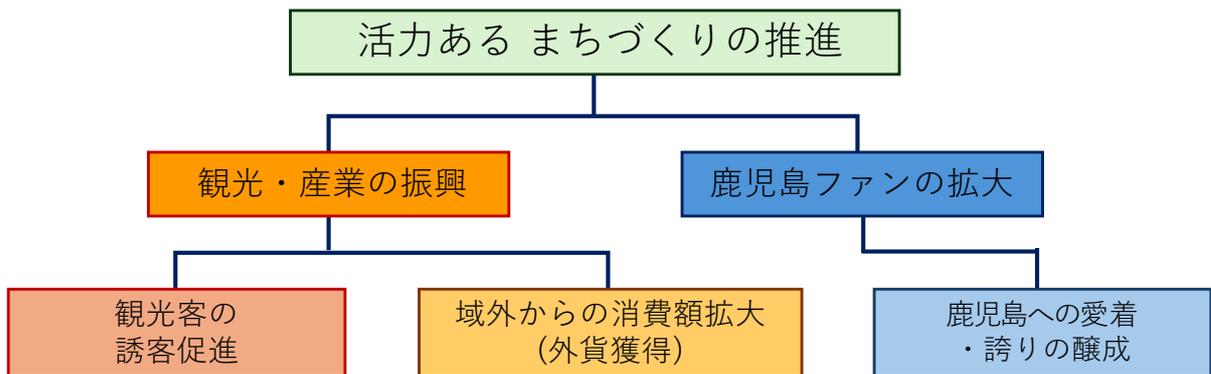
西郷隆盛は1828年鹿児島城下、下加治屋町で生まれ、薩摩藩独自の郷中教育の中で学び、藩主島津斉彬の抜擢による江戸での活躍や、2度の離島での暮らし、その後の江戸や京都での盟友との出会いを経て、やがて明治維新の原動力（立役者）となりました。

令和9（2027）年度には、西郷隆盛の生誕200年・没後150年という大きな節目を迎えます。

この節目を迎えるにあたり、令和8（2026）年度から9（2027）年度にかけて、幕末・明治維新时期に西郷隆盛をはじめとする明治維新の先覚者たちを生み出し、時代をリードしていった鹿児島の歴史・文化を様々な視点から振り返り、偉業を成し遂げるまでの思想や時代背景などを深掘りし、そこから得た学びをこれからの未来へつなげるきっかけにします。

また、西郷隆盛の生涯のストーリーを通して、鹿児島の多彩な魅力（食や文化、産業、自然など）を活用したイベントをはじめ、様々な取組を官民一体となって実施していきます。

これらの取組により、観光客の誘客等による域外からの消費額を拡大（“外貨”獲得）し、観光・産業の振興につなげるとともに、魅力ある歴史・文化等を楽しむ体験・交流や学びを通して鹿児島への愛着や誇りを醸成し、「鹿児島ファン」の拡大を図ることによって、活力あるまちづくりを推進していくものです。



2 事業期間・事業名称

(1) 事業期間

令和8年度～令和9年度

(2) 事業名称

西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト推進事業

3 事業推進体制

プロジェクト推進協議会

[事務局：鹿児島市観光戦略推進課] <設置：令和8年4月>

役割：官民一体となった取組推進に係る調整、推進

会長：市長

副会長：鹿児島県飲食業生活衛生同業組合 理事長

委員：[推進委員会代表] 企画財政局長、市民局長、産業局長、観光交流局長、教育長

[プロジェクトチーム代表] 鹿児島市ホテル旅館組合理事長、(公社)鹿児島県特産品協会事務局長、(公社)鹿児島県観光連盟専務理事、(公財)鹿児島観光コンベンション協会専務理事

民間等 プロジェクトチーム

[事務局：DMO KAGOSHIMA]

<設置：令和6年10月>

役割 ○ 民間主体の事業推進
○ 事業計画策定(プロジェクトチーム関係)

会長：鹿児島観光コンベンション協会専務理事

副会長：観光戦略推進課長

委員：日本旅行業協会、市ホテル旅館組合、県飲食業生活衛生同業組合、県酒造組合、県特産品協会、九州旅客鉄道(株)、(株)南日本放送、鹿児島商工会議所、NPO法人まちづくり地域フォーラム・鹿児島探検の会、県観光連盟

行政 プロジェクト推進委員会

[事務局：鹿児島市観光戦略推進課]

<設置：令和5年8月>

役割 ○ 事業計画策定(更新)
○ 記念イベント開催、ロゴ制作等
○ 県・関係都市等との連携

委員長：観光交流局次長

副委員長：観光戦略推進課長

委員：東京事務所、ふるさと納税・シティプロモーション戦略課、文化振興課、産業支援課、生産流通課、世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課、観光振興課、スポーツ課、スポーツ交流担当課、文化財課、学校教育課、生涯学習課、交通局総合企画課、船舶局営業課、鹿児島観光コンベンション協会

行政・民間等の相互連携による官民一体での事業推進体制により、事業効果の最大化を目指します。



4 推進施策ごとの主な取組・推進体制における役割分担

目的	施策の策柱	推進施策	推進施策ごとの主な取組	推進体制分担			
		特別プログラム		PJ推進委員会	PJチーム		
活力あるまちづくりの推進	観光・産業の振興	I 観光客の誘客促進	【1】 偉人にちなんだ誘客力のあるイベント等の開催	1-1 偉人を偲び、称える記念イベント等の開催	◎	○	
				1-2 楽しみながら功績を学び、人柄に触れる体験・交流イベント等の実施	◎	○	
				1-3 歴史観光施設等における特別展示や企画展等の開催	◎	○	
				【2】 戦略的な誘致・プロモーションの展開	2-1 偉人への興味関心を高めるPRコンテンツの充実、発信強化	◎	○
					2-2 WEB、SNSなどデジタル技術を活用した戦略的なプロモーションの展開	○	◎
					2-3 ロゴマークやキャラクター等を活用した一体的なPR活動の推進	◎	○
				【3】 ホスピタリティあふれる受入体制の充実	3-1 歴史観光施設等における展示・受入機能の充実	◎	○
					3-2 偉人や歴史・文化の魅力を伝える観光案内の充実	○	◎
					3-3 まちぐるみ・市民ぐるみのおもてなしの推進	◎	○
				特別プログラム	歴史探究プログラム	◎	○
		II 域外からの消費額拡大 〔“外貨”獲得〕	【4】 鹿児島ならではの魅力ある商品・サービスの充実	4-1 偉人にちなんだ記念商品等の開発・高付加価値化	◎	○	
			4-2 偉人にまつわる特別体験コンテンツ等の造成・高付加価値化	○	◎		
			【5】 外需を取り込む戦略的なマーケティングの推進	5-1 記念フェアやキャンペーン等による特産品等のPRの推進	◎	○	
				5-2 記念商品・サービス等をフックとしたプロモーションの展開	○	◎	
				5-3 リピート観光・消費を促すマーケティングの強化	○	◎	
			特別プログラム	ラストサムライ体験プログラム	◎	○	
		III 鹿児島ファンへの愛着・誇りの醸成	【6】 偉人に学ぶ教育・学習機会の充実	6-1 次世代を担う子供たちに向けた郷土教育等の推進	◎	○	
				6-2 偉人をテーマにした講座・セミナーやシンポジウム等の開催	◎	○	
			【7】 鹿児島への関わり、想いを高める交流・体験機会の提供	7-1 ゆかりの都市等と連携した記念イベント等の開催	◎	○	
				7-2 ゆかりの都市等との青少年交流・祭り交流等の推進	◎	○	
				7-3 首都圏等における偉人にちなんだ交流・体験イベントの開催	◎	○	
		特別プログラム	郷中教育プログラム	◎	○		

※◎は主な実施主体

5 ロゴマーク・キャッチコピー等

(1) ロゴマーク

<基本形>



<PRキャラクターあり>



<ロゴマークの使用パターン>

<1色カラー>



<2色カラー>



(2) キャッチコピー

愛にいこう、かごしま。

(3) キャッチコピーに込められた意味

西郷さんは、鹿児島を何を愛したんだろう。

明治維新の中心として、日本の歴史に大きな影響を与えた彼は、
戦った相手からも尊敬されるほどの人格者であり、
49年の生涯を通して、人を愛し、そして何よりも、故郷である鹿児島を愛した。

今日も鹿児島は、西郷さんが愛したのたちであふれている。

あたたかい、鹿児島の人。

深みのある、鹿児島の味。

学び豊かな、鹿児島の歴史。

心震わせる、鹿児島の景色。

このまちで、あなたの愛する鹿児島と、出会ってほしい。

新たな出会いから、もっと、鹿児島への愛が深まってほしい。

心おどる出会いから、人を愛すること、まちを愛すること、

それは、西郷さんが生涯をかけて、わたしたちに教えてくれたことでもあるから。

6 事業の方向性

(1) 基本方針

事業名称	事業の趣旨（テーマ）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 西郷隆盛生誕200年・没後150年 記念プロジェクト推進事業 </p>	<p>西郷隆盛は1828年鹿児島城下、下加治屋町で生まれ、薩摩藩独自の郷中教育の中で学び、藩主島津斉彬の抜擢による江戸での活躍や、2度の離島での暮らし、その後の江戸や京都での盟友との出会いを経て、やがて明治維新の原動力（立役者）となりました。</p> <p>令和9（2027）年度には、西郷隆盛の生誕200年・没後150年という大きな節目を迎えます。</p> <p>この節目を迎えるにあたり、令和8（2026）年度から9（2027）年度にかけて、幕末・明治維新时期に西郷隆盛をはじめとする明治維新の先覚者たちを生み出し、時代をリードしていった鹿児島の歴史・文化を様々な視点から振り返り、偉業を成し遂げるまでの思想や時代背景などを深掘りし、そこから得た学びをこれからの未来へつなげるきっかけにします。</p> <p>また、西郷隆盛の生涯のストーリーを通して、鹿児島の多彩な魅力（食や文化、産業、自然など）を活用したイベントをはじめ、様々な取組を官民一体となって実施していきます。</p> <p>これらの取組により、観光客の誘客等による域外からの消費額を拡大（“外貨”獲得）し、観光・産業の振興につなげるとともに、魅力ある歴史・文化等を楽しむ体験・交流や学びを通して鹿児島への愛着や誇りを醸成し、「鹿児島ファン」の拡大を図ることによって、活力あるまちづくりを推進していくものです。</p>
事業期間	事業の目的・施策の柱・推進施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 令和8年度～令和9年度 </p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>〔推進施策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化を楽しめる記念イベントや体験、歴史観光施設の展示の充実など、多彩な魅力を発信することで、観光客の誘客を図ります。 偉人にちなんだ商品や偉人にまつわる体験コンテンツなどを造成するとともに、マーケティングによる消費を促します。 西郷隆盛の生涯を様々な切り口で紹介する講座、シンポジウムの開催やゆかりの都市等との交流により地域への愛着・誇りの醸成につなげます。 </div> <div style="width: 45%;"> <p>〔施策の柱〕</p> <ul style="list-style-type: none"> I 観光客の促進 II 域外からの消費額拡大（“外貨”獲得） III 鹿児島への愛着・誇りの醸成 </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>観光・産業の振興</p> <p>鹿児島ファンの拡大</p> <p>活力あるまちづくりの推進</p> </div>

西郷隆盛

生誕：1828.1.23 > 生誕200年：2028（令10）.1.23（日）
 死没：1877.9.24 > 没後150年：2027（令9）.9.24（金）

西郷隆盛の生涯のストーリー×鹿児島の魅力活用による事業の展開

西郷隆盛の生涯を通じたストーリーを軸に、鹿児島多彩な魅力等も活用しながら効果的な事業の展開を図ります。

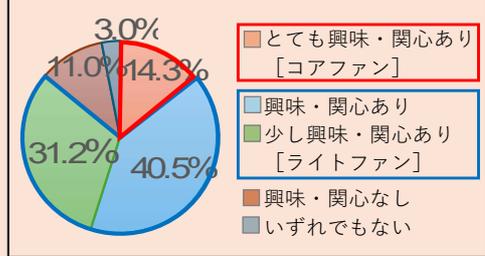
- ① 西郷隆盛の生涯の中で鍵となるいくつかのテーマを設定し、深掘りしていく。[テーマ]
- ② 西郷隆盛の生涯のストーリーと鹿児島多彩な魅力（食、文化、産業、自然など）を掛け合わせることで、多くの西郷ファンにも楽しんでもらえる企画を展開する。[キーワード]

テーマ	キーワード
① 郷中教育	詮議、示現流、いろは歌 等
② 農政意見書	薩摩での暮らしぶり、農産品 等
③ 島津斉彬、奄美の暮らし	明治日本の産業革命遺産、世界自然遺産、伝統工芸品、鹿児島城 等
④ 各地での活動	西郷と関わりのあった幕末の志士、戊辰戦争
⑤ 下野後の鹿児島での暮らし	豊かな食、温泉、農業体験、庄内藩士 等
⑥ 西南戦争と西郷隆盛	城山、官軍本営跡、南洲墓地 等
⑦ 次世代に残したもの	敬天愛人、南洲翁遺訓 人や企業の理念 等

～深掘りポイント～

各テーマにおいて、行動や功績に至った思想や時代の背景などに着目し、深掘りする。

【西郷隆盛の興味・関心度】



西郷隆盛の生涯のストーリーの中でも、功績を語る上で欠かせない歴史上の転換期を考える機会、次世代に残したい幼少期～青年期における薩摩藩独自の学習法、文化や精神など、**西郷隆盛が生涯を通して大事にした思想・哲学などの背景に着目して**、“見る・知る・わかる”ことができる**特別プログラム**を実施します。

施策の柱Ⅰ **歴史探究プログラム「“その時、歴史が動いた”歴史探究プログラム」**

- 内容 西郷隆盛の歴史上の出来事をテーマに、その時の決断に至った背景や、決断のためにどう動いたのかなど、歴史の一幕の思想や時代背景をさまざまな視点から考えるシンポジウム等を開催します。
- 参加者 市民・観光客等

施策の柱Ⅱ **着地型文化等体験プログラム「ラストサムライ体験プログラム」**

- 内容 観光客等に向け、薩摩の“ラストサムライ”としての文化や精神を体験するプログラムを実施します。
- 参加者 国内外の旅行者、国内在住の外国人など
 ※鹿児島は、明治維新に貢献した人物を多く輩出した。その中で西郷隆盛は、“ラストサムライ”とも呼ばれている。

施策の柱Ⅲ **青少年向け教育体験プログラム「郷中教育プログラム」**

- 内容 郷中教育の学習法をもとに、集団の中で自身の考えを伝え、集団としての意思決定に至る過程を学ぶ青少年向けの教育体験プログラムを実施します。
- 参加者 青少年（小・中・高・大学生）
 ※郷中教育：鹿児島の武士の教育体制。地域（郷）ごとに、6歳～25歳ぐらいの年代を越えた集団を形成し、心身や教養を磨くなど、各郷がそれぞれに独自の子弟教育を実施

(2) 事業のイメージ

西郷隆盛の生涯	0歳	6歳	16歳	26歳	30歳	31歳	34歳	36歳	37歳	
	生下加治屋町に生まれる	鹿児島城下、独自の郷中教育の中で学ぶ	薩摩藩薩摩藩の役目につき、農村の生活に触れる	藩の郡方書役に就く	島津齊彬の参勤に伴い江戸に上る	錦江湾へも入水。月照とともに西郷のみが助かる	菊池源吾と愛加那と結婚	鹿児島へ戻る	沖永良部から鹿児島へ召喚される	岩山糸と結婚

令和	8年	度
6月	9月	1月
	まちなか博覧会・秋編 [後イベント]	まちなか博覧会・冬編 [生誕イベント]

西郷隆盛のストーリー 【ゆかりの関連人物】	郷中教育 【赤山鞆負、大久保利通、吉井友実、篠原国幹、村田新八、桂久武】	農政意見書 【島津齊彬、迫田太次右衛門】	島津齊彬との出会いと奄美での暮らし 【島津齊彬、小松帯刀、月照、篤姫、愛加那、西郷菊次郎】
	西郷隆盛の礎を築いた薩摩藩士たちとの学び	薩摩の暮らしぶり、鹿児島が誇る農産品	薩摩が進めた近代化（明治日本の産業革命遺産）と産業化が成したものの

主 な 取 組	キーワード	詮議、示現流、いろは歌 等	薩摩での暮らしぶり、農産品 等	明治日本の産業革命遺産、世界自然遺産、伝統工芸品、鹿児島城 等	
	【施策の柱Ⅰ】 観光客の誘客促進	特別プログラム 推進施策ごとの主な取組	歴史探究プログラム 2-1 偉人への興味関心を高めるPRコンテンツの充実、発信強化 2-2 web、SNSなどデジタル技術を活用した戦略的なプロモーションの展開 2-3 ロゴマークやキャラクター等を活用した一体的なPR活動の推進 1-1 偉人を偲び、称える記念イベント等の開催 1-3 歴史観光施設等における特別展示や企画展等の開催 3-2 偉人や歴史・文化の魅力を伝える観光案内の充実 3-3 まちぐるみ・市民ぐるみのおもてなしの推進 1-2 楽しみながら功績を学び、人柄に触れる体験・交流イベント等の実施 3-1 歴史観光施設等における展示・受入機能の充実		
	【施策の柱Ⅱ】 域外からの消費額拡大(外貨獲得)	特別プログラム 推進施策ごとの主な取組	ラストサムライ体験プログラム 4-1 偉人にちなんだ記念商品等の開発・高付加価値化 5-1 記念フェアやキャンペーン等による特産品等のPRの推進 5-2 記念商品等のプロモーションの展開 5-3 リピート観光・消費を促すマーケティングの強化 4-2 偉人にまつわる特別体験コンテンツ等の造成・高付加価値化		
【施策の柱Ⅲ】 鹿児島への愛着・誇りの醸成	特別プログラム 推進施策ごとの主な取組	郷中教育プログラム 6-1 偉人を題材にした郷土教育、探求学習等の推進 6-2 偉人をテーマにした講座・セミナーやシンポジウム等の開催 7-1 ゆかりの都市等と連携した記念イベント等の開催 7-2 ゆかりの都市等との青少年交流・祭り交流等 7-3 首都圏等における偉人にちなんだ交流・体験イベントの開催			

38歳 長同 盟を 締結	40歳 血開 城へ 導く	43歳 とな る	45歳 帰る	47歳 校を 設立	49歳 生涯 を閉 じる
小松 帯刀 郎で	勝海 舟と 面談	新府 の参 議	参議 の職 を辞	吉野 開墾 社を	官軍 の総 攻撃
木戸 孝允 と薩	し、 江戸 城無	府を 任さ れる	し、 鹿兒 島へ	鹿兒 島に 私学	田原 坂の 戦い
		岩倉 使節 団が		西南 戦争 開始	和野 越の 戦い
		欧米 視察 へ出			城山 に籠 城

令	和	9	年	度
	6月	9月		1月
		まちなか博覧会・冬編 [没後150年記念イベント]		まちなか博覧会・冬編 [生誕200年記念イベント]

各地での活動 【新納久脩・町田久成・寺島宗則・五代友厚などの薩摩スチューデント、大久保利通、坂本龍馬、木戸孝允、勝海舟、篤姫、菅実秀】 薩長同盟や江戸城無血開城などでの活躍	下野後の鹿兒島での暮らし 【大山巖、桐野利秋】 温泉を巡り、釣りや農業の日々から西郷が見た鹿兒島の景色	西南戦争と西郷隆盛 【篠原国幹、村田新八、桐野利秋、別府晋介】 戦いへの決意と熊本～城山での戦い	次世代に残したもの 【西郷従道、松方正義、川路利良、黒田清隆、大山巖、山本権兵衛、西郷菊次郎、東郷平八郎、稲盛和夫】 没後に活躍した偉人や敬天愛人・南洲翁遺訓の教え
---	--	---	---

西郷と関わりのあった幕末の志士、戊辰戦争	豊かな食、温泉、農業体験、庄内藩士等	城山、官軍本営跡、南洲墓地等	敬天愛人、南洲翁遺訓人や企業の理念等
----------------------	--------------------	----------------	--------------------

歴史探究プログラム

- 2-1 偉人への興味関心を高めるPRコンテンツの充実、発信強化
- 2-2 WEB、SNSなどデジタル技術を活用した戦略的なプロモーションの展開
- 2-3 ロゴマークやキャラクター等を活用した一体的なPR活動の推進
- 3-1 歴史観光施設等における展示・受入機能の充実
- 3-2 偉人や歴史・文化の魅力伝える観光案内の充実
- 1-2 楽しみながら功績を学び、人柄に触れる体験・交流イベント等の実施
- 1-1 偉人を偲び、称える記念イベント等の開催
- 1-3 歴史観光施設等における特別展示や企画展等の開催
- 3-3 まちぐるみ・市民ぐるみのおもてなしの推進

ラストサムライ体験プログラム

- 4-1 偉人にちなんだ記念商品等の開発・高付加価値化
- 5-1 記念フェアやキャンペーン等による特産品等のPRの推進
- 5-2 記念商品等のプロモーションの展開
- 5-3 リピート観光・消費を促すマーケティングの強化
- 4-2 偉人にまつわる特別体験コンテンツ等の造成・高付加価値化

郷中教育プログラム

- 6-1 偉人を題材にした郷土教育、探求学習等の推進
- 6-2 偉人をテーマにした講座・セミナーやシンポジウム等の開催
- 7-1 ゆかりの都市等と連携した記念イベント等の開催
- 7-2 ゆかりの都市等との青少年交流・祭り交流等
- 7-3 首都圏等における偉人にちなんだ交流・体験イベントの開催

7 施策の柱・推進施策

(1) 施策の柱 I

観光客の誘客促進

観光客のライフスタイルや嗜好の変化などニーズが多様化する中、本市では、市場トレンドや観光ニーズを踏まえた誘致・プロモーションを展開し、国内外からの交流人口をさらに増加させていくため、地域特性を生かした観光・交流の推進を図っています。

西郷隆盛生誕200年・没後150年を契機に、本市の観光資源の一つである幕末・明治維新に象徴される世界に誇りうる魅力ある歴史や文化を最大限に生かして、記念イベントをはじめ、西郷隆盛の功績や人柄に触れる体験・交流イベントを実施するほか、歴史観光施設の展示や案内機能の充実を図ります。

また、ロゴマークやかごしま観光PRキャラクター等を活用した官民一体となったPRを進めるとともに、WEB・SNSなどのデジタル技術を活用した戦略的な情報発信・プロモーションを進めます。

<推進施策1～3>

【推進施策1】 偉人にちなんだ誘客力のあるイベント等の開催

西郷隆盛の記念の節目を契機に、没後を偲び、生誕を祝うイベントの開催や本市の歴史・文化を身近に体感できる西郷まちなか博覧会などを通じて、楽しみながら西郷隆盛の功績や人柄を学ぶ体験等の提供を行うとともに、西郷ゆかりの地などを市電（トラム）とまちあるきの掛け合わせで楽しむ特別コースを運行します。

また、西郷南洲頭彰館や維新ふるさと館をはじめとする歴史観光施設等での偉人にちなんだ特別展示や企画展などのイベントを通じて、西郷隆盛の生涯をわかりやすくかつ様々な視点から知ることができる機会の創出を図ります。



【推進施策2】 戦略的な誘致・プロモーションの展開

かごしま市観光ナビに特設サイトを設け、西郷隆盛をはじめとする歴史に関する様々なコンテンツやイベント情報等をタイムリーに発信するほか、SNS等のデジタル技術を活用するなど、戦略的なプロモーションを行うことにより、効果的な誘客を図ります。

また、ラッピング電車の運行や街頭フラッグ等により、まちなかにおいて機運醸成を図るほか、「西郷どん」の着ぐるみによるPR活動やロゴマーク・キャッチコピーの広域での活用を通じ、積極的な情報発信に取り組みます。

**【特別プログラム】****「“その時、歴史が動いた”歴史探究プログラム」**

西郷隆盛の歴史上の出来事をテーマに、その時の決断に至った背景や、決断のためにどう動いたのかなど、歴史の一幕の思想や時代背景をさまざまな視点から考えるシンポジウム等を開催します。

【推進施策3】 ホスピタリティあふれる受入体制の充実

西郷隆盛や大久保利通をはじめとする明治維新の立役者となった多くの偉人たちが生まれ育ったゆかりの地に位置する維新ふるさと館のリニューアルにより、展示機能のさらなる充実を図るほか、西郷隆盛の功績やゆかりの地などを紹介したマップを制作し、歴史・文化に関する観光案内の強化を図ります。

また、主要観光地では、ボランティアガイドが幕末の歴史・文化について案内を行うなど、プロジェクト期間中に受入体制の充実を図ります。



(2) 施策の柱Ⅱ

域外からの消費額拡大（“外貨”獲得）

人口減少による個人消費額の減少分を上回る観光消費額を創出するためには、豊富な観光資源を兼ね備え、観光に優位性のある本市のメリットを生かし、地域経済の活性化に取り組んでいくことが重要です。

本市の代表的な観光資源の1つである幕末・明治維新の個性ある歴史・文化と鹿児島の多彩な魅力（食や文化、産業、自然など）を掛け合わせた「鹿児島ならではの」の記念商品等の開発、特別体験コンテンツの造成などを通して、観光客等に向けた商品・サービスの充実や高付加価値化に取り組めます。

また、イベント等により特産品等のPRを行うほか、新たな商品やコンテンツ等を活用し、より魅力的なプロモーションに取り組むことで、リピート観光・消費を促すマーケティングを推進します。

＜推進施策4～5＞

【推進施策4】 鹿児島ならではの魅力ある商品・サービスの充実

西郷隆盛をフックとした魅力ある商品の開発に向け、「かごしまの新特産品コンクール」における西郷隆盛をテーマとした新賞の創設や 新商品開発への助成等に取り組むほか、西郷ゆかりの食などをテーマにしたグルメイベントの開催や鹿児島の魅力ある食や地場産品を活用した商品・サービスの充実を図ります。

また、鹿児島弁を活用した新たなまちあるきコースや薩摩の文化や精神を体験するラストサムライプログラムなど、「鹿児島ならではの」新たな体験プログラムを造成するほか、民間等が実施する体験コンテンツ等の造成支援を行います。



【特別プログラム】

「ラストサムライ体験プログラム」

観光客等に向け、薩摩の“ラストサムライ”としての文化や精神を体験するプログラムを実施します。

※鹿児島は、明治維新に貢献した人物を多く輩出した。その中で西郷隆盛は、“ラストサムライ”とも呼ばれている。

【推進施策5】 外需を取り込む戦略的なマーケティングの推進

他都市や市内で開催されるキャンペーンやイベントなどの機会をとらえ、西郷が好んだとされる本市の特産品や農林水産品等のPRなどを実施するとともに、市公式ECサイト（カゴシマシティコレクション）等に特設ページを設け、西郷ゆかりの商品を販売するなど、記念商品やサービス等をフックとしたプロモーションを展開していきます。

また、プロジェクト期間中に実施する新たな観光コンテンツ等を紹介するプロモーションを実施するなど、来訪を促すためのターゲットを定めたマーケティングを推進していきます。



(3) 施策の柱

鹿児島への愛着・誇りの醸成

本市は、島津氏の城下町として発展し、西郷隆盛をはじめ、さまざまな分野において優れた人材を輩出しているほか、思いやりや連帯感を培った郷中教育が郷土の偉人を育ててきた歴史を持つなど、温かみにあふれる市民性や支え合い・助け合いを大事にする風土があります。

次世代を担う子供たちをはじめ、多くの市民が、西郷隆盛の生涯をテーマにした講座やシンポジウム等を通して、鹿児島のさまざまな歴史・文化を振り返り、「市民自らが楽しむ」ことで、自分が暮らすまちに自信と誇りを持てるような機会づくりに取り組みます。

また、ゆかりの都市等との交流・体験を通じ、本市とさまざまな形で関わる人を増やすことで、交流人口の拡大を図ります。

これらの取組により、鹿児島への愛着や誇りを醸成し、鹿児島ファンの拡大を図ります。

＜推進施策6～7＞

【推進施策6】 偉人に学ぶ教育・学習機会の充実

幕末・明治維新にかけて時代をリードした鹿児島の歴史や文化等について、西郷南洲顕彰館や維新ふるさと館を中心に、西郷隆盛の生涯のストーリーを通して学ぶことができる講座やセミナーを開催します。

また、明治維新时期を題材とする修学旅行生向け「歴史・文化探求学習プログラム」の活用を促進するほか、郷土の偉人を題材にした漫画教材の学校教育での活用や、ふるさと人物史伝の編集を行うことにより、地域への理解を深めるとともに交流や学びを通し、鹿児島への愛着等の醸成に取り組みます。



【特別プログラム】

「郷中教育プログラム」

郷中教育の学習法をもとに、集団の中で自身の考えを伝え、様々な意見の中で集団としての意思決定に至る過程を学ぶ青少年向けの教育体験プログラムを実施します。

※郷中教育とは、鹿児島の武士の教育体制。地域（郷）ごとに、6歳～25歳ぐらいの年代を越えた集団を形成し、心身や教養を磨くなど、各郷がそれぞれに独自の子弟教育を実施。

【推進施策7】 鹿児島への関わり、想いを高める交流・体験機会の提供

鹿児島県内における西郷ゆかりの都市等を巡る周遊キャンペーンの実施やおはら祭などのイベントに、県外のゆかりの都市を招聘して交流を行うほか、山形県鶴岡市の中学生との相互交流や首都圏においてイベントを開催するなど、交流の機会を提供することで、本市への関わりや想いを高め、「鹿児島ファン」の拡大を図ります。



第2章 事業実施に向けて

1 関係機関や民間事業者等との連携

本事業の推進にあたっては、本市とプロジェクトチーム（P5）が緊密に連携することはもとより、県や関係市町村、関係機関、民間事業者など様々な団体等と連携し、官民一体となった取組を推進していきます。

また、県内外からの誘客を図るため、本事業と関わりのある自治体との共同イベントや観光キャンペーンを実施するほか、民間主体のイベントなどについては、実施を検討していただけるよう、関係各所へ積極的に働きかけを行ってまいります。

2 「西郷まちなか博覧会」に向けた取組の推進

本市では、西郷隆盛をはじめとする本市の歴史・文化をまちなかで身近に体感できる参加・体験型のイベント「西郷まちなか博覧会」の実施を予定しています。

「西郷まちなか博覧会」では、本市が実施するイベントのほか、期間中に本プロジェクトと関連性のある様々な取組を集約し、かごしま市観光ナビ等において一体的なPRを行ってまいります。

令和8年度の「西郷まちなか博覧会」は、西郷隆盛の没後149年を迎える9月からの開始を予定しており、関係機関・民間事業者等が実施する取組等につきましても、事業計画のテーマやキーワードなどを参考に、関連イベントの実施やグッズの製作・販売など、鹿児島が一体となって盛り上がっていくよう、取組への積極的なご協力をお願いいたします。

3 冠付けイベントの効果的な推進

「西郷隆盛生誕200年・没後150年」記念プロジェクトの機運醸成を図るため、様々なイベントで冠付けを推進していきます。

■ 冠付けの名称

- ・令和8年度 西郷隆盛生誕200年・没後150年カウントダウン記念
- ・令和9年度 西郷隆盛生誕200年・没後150年記念

■ 冠付けイベントの条件

- ・主催者が本市または本市の外郭団体のイベント
- ・本市に事務局がある実行委員会のイベント
- ・本市が共催・後援するイベントで、本市の観光振興に寄与するイベント

■ 冠付けイベントの申し込み

市以外からの申し込み希望の場合は、当該イベントに関する市の所管課又は観光戦略推進課までお問い合わせください。

4 ロゴマーク・キャッチコピー等の積極的な推進

官民一体となった取組を推進するには、一体感のあるプロモーションが必要であることから、ロゴマーク・キャッチコピーをはじめ、かごしま観光PRキャラクターである「西郷どん」ほか明治維新に活躍した偉人を模したキャラクターについては、デザインガイドラインを策定し、多くの方に活用いただけるよう、積極的に呼び掛けてまいります。



■ロゴマーク・キャッチコピー
利用申し込み

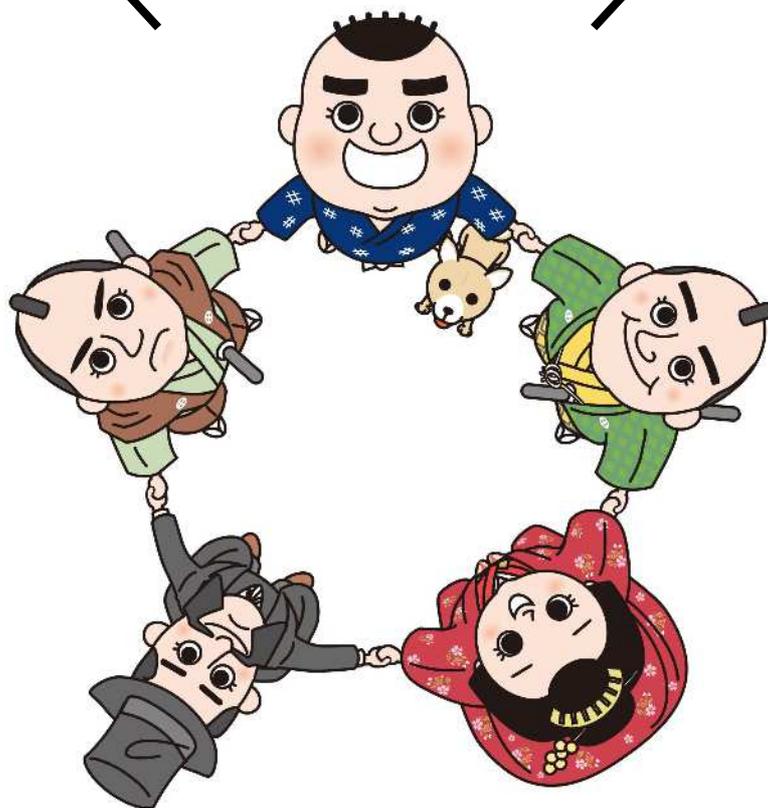


■かごしま観光PRキャラクター
利用申し込み



まちと人が一つになって、みんなで楽しむプロジェクトに✨

次の100年に向けて
西郷プロジェクトいっど～
GO 西郷（最高）！！



愛にいこう、かごしま。

200 西郷隆盛 150

生誕200年・没後150年記念